教育センター・育成センター所報

GALILEI

雪割草

新しい教育　柏崎からの発信

インターネット版（カラー）は「柏崎市教育情報支援システム」を検索し，トップ画面右上の「GALILEI」をクリックすると閲覧できます。

平成 22 年２月号

柏崎市立教育センター

柏崎市青少年育成センター

2月号　CONTENTS

○ **今月の巻頭言**　　子どもの「感性」をそだてよう
柏崎市立柏崎小学校長　渡邊　隆樹 …… 1
（教育センター運営委員長）

○ **教育センターだより** …… 2

● **アクセス**（教育研究班） …… 2
平成22年度柏崎市学校教育実践上の努力点、スクールオフィス活用のために

● **プロジェクト K**（教育研究班・科学技術教育） …… 8
研修会・事業の一コマ

● **心の窓**（教育相談班） …… 9
毎日が教育相談・・・「めざせ　あいさつ　日本一」
エールバンドコンサート、食べることは生きること

○ **青少年育成センター通信** …… 12
伸びる育成活動参加率、講演会参加者の感想

○ **所員随想つれづれ**　「うれしい知らせ」　寺澤　朋法 …… 14
「我が家のチェシャ猫」　今井　芳和

○ **教育センター３月の予定** …… 16

○ **教育センター１月の利用状況** …… 17

若葉抄

◆先日、この冬一番の寒気団が押し寄せる中、教育センターで「第８回柏崎の教育を語る会」が行われました。テーマを「夢・展望　１０年後の柏崎の子どもたち」とし、「生きる力」「メディア」「体験」「規範意識」の４つの視点で青年会議所、市Ｐ連、教員、市教委と多様な立場、角度から「柏崎の教育」について熱く語り合いました。

１０年後の子ども像としては、「柏崎が大好きで、誇りに思える子ども」「情報処理能力をもち、柏崎の素晴らしさやよさを発信できる子ども」「自己実現のため、自分で判断できる子ども」などが参加者からでてきました。

これらを達成していくには、学校・家庭・地域がより一層連携しながら、真剣に子どもたちと向き合っていく必要があると改めて感じました。

さて「不易流行」という言葉があります。これは松尾芭蕉が俳句の世界で使った言葉と言われています。俳句はご存知のように十七音という世界一短い詩形であるため、新しい表現を心がけないと陳腐で類型的な句しかできないので、絶えず「流行」を追い求めていかなくてはなりません。

一方、俳句として存立する不変の条件、例えば五七五の十七音形であるとか季語など、いくつかの原則（「不易」）も不変の鉄則として維持していかなくてはなりません。

学校教育にも「不易」と「流行」があることは、誰もが認めるところです。「柏崎の教育」における「不易」と「流行」の部分をしっかり見極めながら、原則となる部分（学習や生活の基礎・基本）をきちんと教え育てたうえで、新たな取組（流行）にも果敢に挑んでいきたいものです。（ｎｈ）

今月の巻頭言

子どもの「感性」をそだてよう

教育センター運営委員長
柏崎市立柏崎小学校
校長　　渡　邊　隆　樹

ある新聞の記事に，子どものつぶやきを集めた「あのね」夏休み特集が掲載されていました。一部を紹介します。

・夏の日の夕方。夕日を受けてアスファルトに伸びるパパと自分の影を見て，「私，４歳なのに，どうして影はこんなにおっきいんだろう」。
・海辺を散歩中，波の音を聞いて，「海の中のＣＤが鳴っているんだね」。
・小学生になり、夏休みも毎日，学童保育に通っている。金曜の夜，「お母さん，明日の朝はぐったり寝てていい？」。
・アイスクリームは一日一個と決めているが，おじいちゃんに二個目を買ってもらった。怒るママに「でも，アイスを食べるとやさしい気持ちになるんだよ！」。

なんと子どもたちの感性のすばらしさ，豊かさ，鋭さ，感性の響き合いが大人では感じることのできない世界がここにあります。

元文部省初等中等教育局教科調査官の遠藤友麗氏によれば，21 世紀は「人間性の時代，人間らしい心の価値を取りもどす時代」であり，「感性」は「心に感じる力」「心に価値や人の気持ちなどを感じ取る力」といっています。

「感性」は，いわば人間の心の大地（土壌），「知性」はそこに育つ植物，また，感性は「知」を強化し，生きた知は「感性」を強化するのであり，「感性」と「知性」は相互関係にあり，調和的に育てることが大切である。感性によって感じ取ったことそのものは目に見えない，他人には理解できない。それは，音声言語，文字，造形，音楽，身体などによって具体的に表現・創造することによって初めてわかるようになる，と述べています。

学習活動の底辺には，子どもたちの感性と知性が相互に響き合って，学びを強化していると私は思っています。

子どもたちが発見したこと，思ったこと，考えたことなどを絵や言葉などで表現する活動，体験活動等を通して課題をもち，必要な情報を取り出し，分析し，思考し，自分の考えをまとめ，表現していく活動などにおいて「心に感じる力・感じ取る力」がまず育っていなければならないと思います。

それぞれの学校の教職員が子どもたちのために今，何ができるのかをじっくり考え，学校の実態に応じて堅実に教育活動を進めて行くことが大切であると思います。

是非、日ごろの教育活動において，子どもたちをほめ，ほめることを通して人間的な成長を図っていってほしいと願っています。

子どもの感性がそだつことによって，これからの柏崎刈羽の教育がますます充実し，高まっていくよう頑張りたいと思っています。

教育研究班だより

アクセス

No.99	平成 22 年 2 月 24 日発行	柏崎市立教育センター	945-0833 新潟県柏崎市若葉町 2-31 TEL:0257-23-4591 FAX:0257-23-4610

各学校においては、今年度の学校評価を基にしながら、学習指導要領移行２年目となる来年度の教育課程編成、諸計画の準備を進めていることと思われます。去る２月５日、柏崎市立教育センターにおいて「平成２２年度柏崎市学校教育実践上の努力点」説明会が開催されました。今月は、その概要を掲載します。

平成22年度　柏崎市学校教育実践上の努力点

～　「地域に信頼される魅力ある学校づくり」を目指して　～

柏崎市教育委員会

「地域に信頼される魅力ある学校」とは、

- ○　子どもたちの安心・安全が保障され、希望をもって学校生活を送っている
- ○　子どもたちが意欲的に学び、確かな学力を身に付けている
- ○　子どもたちが豊かな心をもち、健やかな体をはぐくんでいる

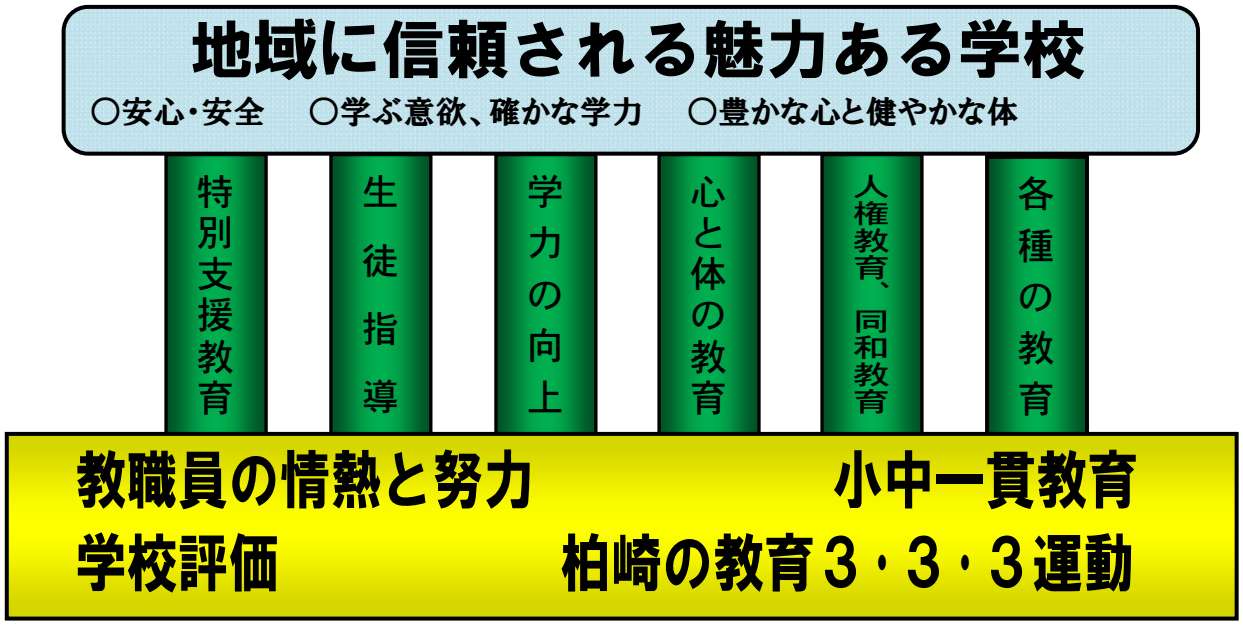
といった姿として現れてきます。

この実現に向けて、

- ○　小・中学校が地域の理解や協力を得ながら連携・協働する「小中一貫教育」を推進する
- ○　子どもたちや保護者、地域住民による評価を学校づくりに生かす
- ○　「柏崎の教育３・３・３運動」を家庭や地域と連携して推進する

などに努めることが大切です。そして、何よりも教職員一人一人が教育に対する情熱をもち、自分の資質を高める努力をしていくことが重要です。

教職員一人一人が自ら研さんに努め、人間性豊かで、子どもや保護者、地域にとって魅力的で信頼される教職員であること



学力の向上

児童生徒一人一人の確かな学力の向上を図るために、授業改善に取り組む。

実　践　事　項
◇ **学習意欲の向上に向け、分かる喜びや学ぶ楽しさ・意義を実感させる学習活動を展開する。** ・単元全体を見通した教材研究（ねらいの明確化、単元構成の工夫、教材の開発、授業分析・評価等） ・指導技術の向上（課題提示・発問・板書の工夫、ノート指導、発表指導等）　・情報教育機器の効果的な利用 ・見通しを立てたり、振り返ったりする学習活動の設定 ◇ **基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得に向けた指導を充実する。** ・学習ルールや学習習慣（家庭学習を含む）の確立　・実態把握と個の見取り ・繰り返し学習や補充学習等きめ細かな指導　・少人数・習熟度別授業やＴＴ授業の工夫 ◇ **思考力、判断力、表現力の育成のため、知識・技能を活用する学習活動を充実する。** ・体験的な学習や問題解決的な学習 ・記録、要約、説明、論述等の言語活動の充実 ◇ **総合的な学習の時間では、自ら学び自ら考える力を育成するため、横断的・探究的な活動を一層充実させる。** ・各教科と総合的な学習の関連を図った指導計画の作成　・地域素材・人材データベースの整備 ・評価規準や評価方法の検討　・中学校区における情報交換

心と体の教育

児童生徒に豊かな心と健やかな体を育成するため、道徳教育や体育・健康に関する指導を充実させる。

実　践　事　項
◇ **道徳的価値の自覚を深め、道徳的実践力を向上させるため、道徳の時間を要として教育活動全体を通じて道徳教育に取り組む。** ・校長の指導の下、道徳教育推進教師が中心となり全職員で取り組む道徳教育の充実 ・内容項目を適切に位置付けた年間指導計画の作成 ・各教科等の特質を踏まえた上での教育活動全体で取り組む道徳教育の推進 ・資料提示、役割演技、話し合い等の指導方法を工夫した道徳の時間の充 ◇ **思いやりの心や規範意識を育成するため、道徳の時間と体験活動の関連を図る。** ・集団宿泊活動や職場体験活動などによる社会性や規範意識の育成 ・道徳性の育成に資する体験活動の重視と道徳の時間との関連強化 ・異年齢交流、奉仕体験活動などによる自己肯定感、達成感の体得や思いやりの心の育成 ◇ **運動しやすい環境を整え、自校の実態に応じた体つくりを計画的・継続的に実施する。** ・体力テストの分析による学校課題の把握と全体計画及び年間指導計画の改善 ・児童生徒の実態に応じた独自の体育的行事（活動）の企画や学習カードの活用 ・運動施設、遊び場、用具等の工夫、整備　・課外活動や部活動の充実 ◇ **主体的に運動に親しみ、健康な生活を送る習慣を形成する。** ・運動の楽しさを味わうことのできる授業や活動の工夫　・望ましい生活習慣の定着に向けた家庭や地域、PTA との連携強化 ・健康や安全の大切さに気付かせるための体験活動の工夫・「早寝・早起き・朝ごはん」、「消テレビ・省ゲーム」への取組

生 徒 指 導

児童生徒の自己指導能力を向上させるため、積極的な生徒指導を組織的に展開する。

実　践　事　項

◇　望ましい人間関係や社会性を育成するための教育活動を工夫し、計画的かつ継続的に実践する。

・仲間とのかかわりを深める学級活動や縦割り班活動
・地域の人とのかかわりを深めるボランティア活動
・仲間とのかかわり方を学ぶＳＳＴやＳＧＥなどの実施
・人間関係づくりを苦手とする児童生徒への個別支援

◇　個人や集団のあるべき姿を考え、自己の役割を理解し、目標に向けて自己決定する場を意図的に設定する。

・諸問題の解決を自主的に行うための小グループや学級での話し合い活動の充実
・児童生徒の発想やアイディアを生かした児童会、生徒会活動
・自己存在感や集団への所属感をもたせる学級会活動や集会活動
・個や集団の明確な目標を設定して努力する場の設定（運動会、学習発表会、合唱コンクール、マラソン・駅伝大会、部活動等）

◇　自校化した「いじめ防止学習プログラム」や「中１ギャップ解消プログラム」を確実に実践し、いじめや不登校を生まない集団を育成する。

・積極的な小中連携、幼・保小連携の取組
・生活ノートや個人ファイル等を利用した児童生徒の理解
・共感的な人間関係に基づいたきめ細やかな教育相談
・児童生徒の内面の変化を見逃さないための職員研修
・組織としての迅速な初期対応と、関係機関との緊密な連携
（市立教育センター、元気館、児童相談所、学校訪問相談員、スクールカウンセラー等）

人権教育、同和教育

児童生徒に確かな人権感覚と実践力をはぐくむため、人権教育、同和教育を着実に実践し、差別や偏見のない学校・学級づくりを進める。

実　践　事　項

◇　「差別をしない心、許さない心」をはぐくむため、副読本「生きるⅠ～Ⅳ」等を積極的に活用し、児童生徒の心に響く授業を着実に実践する。

・年間指導計画に基づく計画的、系統的な授業の展開
・保護者への授業公開、参加型授業、保護者懇談会の実施

◇　「かかわる同和教育」の視点に立った指導や児童生徒の人権を大切にした指導に努める。

・悩みや問題を抱える児童生徒への積極的なかかわり（家庭訪問、教育相談等）
・いじめや差別を許さない学校・学級づくり（「隠れたカリキュラム」の展開）

◇　主体的な研修への参加を通して、教職員一人一人が人権・同和問題に関する正しい理解と人権感覚を高め、指導力の向上に努める。

・年２回以上の計画的な校内研修の実施（授業研究、外部講師の招聘、現地学習会など）
・各種研修への積極的な参加と校内での確実な伝達（同和教育基本講座、県同教研究集会、部落解放研究集会、いのち・愛・人権展、人権・同和教育指導者養成講座等）

特別支援教育

児童生徒のもつ可能性を最大限に伸ばすため、一人一人の教育的ニーズを把握し、全校体制で適切な指導及び必要な支援を行う。

実　践　事　項
◇　特別支援教育コーディネーターを中心に校内委員会を有効に機能させ、校内外の体制を整える。 ・校内委員会の役割や活動内容の明確化、定例化と、保護者への周知 ・発達検査・知能検査・チェックリスト等を活用した確実な実態把握 ・各種関係機関との連携の強化（通級指導教室、市立教育センター、スクールサポート巡回相談、医療機関等） ・幼保・学校間(小・中・高・特)における連携の強化 **◇　個別の指導計画や個別の教育支援計画を作成し、その活用、評価、改善を的確に行う。** ・校内関係者との連携による個別の指導計画の作成 ・保護者や関係機関との連携による個別の教育支援計画の作成 ・目標や内容、方法を明確にした交流及び共同学習の実施 **◇　全教職員の専門性及び指導力の向上を目指し、積極的に研修会に参加し、校内の指導に生かす。** ・特別支援教育の視点に立った児童生徒理解と支援方策の検討 ・事例検討会等の校内研修の計画的な実施

各種の教育活動

教　育　活　動	努　力　点　及　び　実　践　事　項
●　キャリア教育	**キャリア教育を教育計画に明確に位置付け、望ましい職業観・勤労観を育成する。** ◇　キャリア教育の視点による授業、係活動、学級活動、委員会活動等の充実 ◇　講話や体験活動等、働く人々と接する機会の意図的・計画的な設定
●　情報教育	**情報活用能力を育成するため、様々な情報を取り扱う授業や活動を行う。** ◇　年間指導計画に基づいた計画的な情報モラル教育の推進(保護者への啓発) ◇　情報教育機器(電子黒板等)を積極的に活用した学習活動の展開
●　環境教育、エネルギー教育	**望ましい未来について考える意欲や態度を育成するため、環境問題やエネルギー問題に関する学習の充実を図る。** ◇　自校で取り組む「エコアクション 21」など創意工夫を凝らした実践活動 ◇　各種施設の積極的な活用
●　食　育	**食への関心を高め、年間指導計画をもとに家庭や地域と連携を図りながら望ましい食習慣を形成する。** ◇　学校栄養職員・養護教諭の授業参加や給食の時間の活用等による指導の充実 ◇　日本や郷土（柏崎）の食文化への理解を深める体験活動の実施と食文化の継承
●　安全教育	**自他の危険予測・危険回避の能力を育成するため、実践的な指導の充実を図る。** ◇　様々な状況を設定した各種訓練や安全教室等の実施 ◇　緊急時の対応の仕方や事故を防ぐ方法についての理解と実践
●　国際理解教育	**柏崎の文化や文化に親しむとともに、異文化について理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。** ◇　地域在住の外国人(留学生やＡＬＴ等)の活用や体験活動の充実 ◇　小学校外国語活動の指導計画の作成と研修の充実
●　平和教育	**平和を希求する児童生徒を育てるため、平和について考えさせるとともに、生命の尊重、人や物を大切にする心を養う教育活動を展開する。** ◇　授業(教材)や各種行事との関連を図った指導 ◇　視聴覚教材を活用した学習活動の展開

スクールオフィス活用のために

教育機関向けに開発された校務支援システム「スクールオフィス」は、多くのサブシステムを持つ多機能なシステムですが、グループウェアもその多くの機能の一部であり、次のような機能が用意されています。

名称	機能
スケジュール	自分や他の職員の予定の閲覧・登録、自校や他校の行事の閲覧・登録（権限者のみ）
メール	電子メールの一般的な機能が利用でき、共有メールアドレスで簡単に自校・他校の教職員にメールを送信できます。
掲示板	あらかじめ用意した掲示板に投稿すると、学校内または学校間で情報の周知をすばやく行えます。文書の添付も可能。
動静・来校・日直	出張・年休等の動静、来校者、日直の予定を校内で共有できます。 （入力は管理者のみ）
施設予約	教室・会議室などの施設や、デジカメ・プロジェクタなどの備品の予約管理を行えます。
ワークフロー	各種の申請~決裁を PC 上で行います。
回覧板	相手を選択して電子的に文書を回覧します。閲覧者がコメントを入力したり、閲覧状況を随時確認したりすることができます。掲示板は相手を選択できませんが、回覧板は可能です。掲示板は相手が見たかどうか確認できませんが、回覧板は可能です。
ToDo	自分がやるべき要件を登録することで、期限内の遂行を促します。
学校日誌	動静・来校者などの情報から、学校日誌を自動生成します。
リンク集	校内・学校間共有のリンク集を作成・閲覧できます。

グループウェアでは、全ての利用者が意識して活用しようとしない限りその真価を発揮できません。「私は苦手だから」とか「どうせ自分宛ての情報はないだろうから」と考える利用者がいると、スムースな連携がとれなくなり、他の利用者に迷惑をかけることになります。全ての利用者が、日常的な業務の流れの中で以下の点を徹底するように意識して下さい。

【出勤時】
◆スクールオフィスにログインし、メール、掲示板、回覧板の最新情報をチェックする。

⇩

【日常業務中】
◆自分の予定が入ったら、スケジュールに登録する。
◆紙、電話、FAX 等で行っていた連絡・調整はできるだけグループウェア上で行う。
・全員への連絡事項では掲示板を活用する。
・特定の相手との連絡・調整は回覧板またはメールを活用する。
・各種文書の紙での配布を最小限とし、掲示板・回覧板・メールの文書添付を活用する。
・自校、他校の行事予定や関係者のスケジュールを確認する。
◆休み時間などに、メール、掲示板、回覧板の最新情報をチェックする。

⇩

【退勤時】
◆メール、掲示板、回覧板の最新情報をチェックする。スクールオフィスはトップページ右上のをログアウトをクリックし、ログアウト処理を行ってからシャットダウンする。

■■■　セキュリティ情報　■■■

セキュリティホール情報

マイクロソフトより、2 月 10 日付で 2 月の定期更新として、Windows などの重要な更新が下記のように公開されました。まだ Update が済んでいないようでしたら、至急 Windows Update などを実施していただくようお願いします。なお、ご利用の環境によっては以下の更新以外にも、別の更新がリストアップされる場合があります。また、一旦更新プログラムが提供された後で再度問題が見つかり、予告なく新たな更新が提供される場合もありますので、「自動更新機能を ON にする」、「定期的に更新をチェックする」などして、随時提供される更新が速やかに適用されるようにしてください。

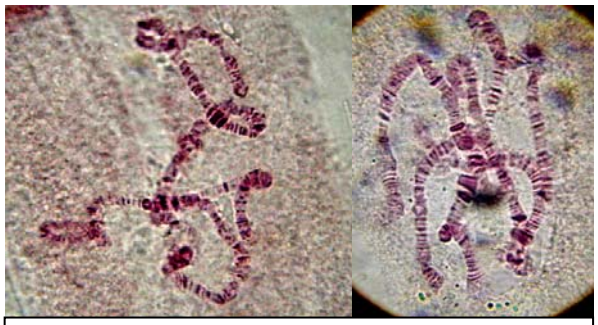
No.	更新の名称	脆弱性等の情報	対象	深刻度
1	MS10-003 Office の重要な更新	Microsoft Office (MSO) の脆弱性により、リモートでコードが実行される (978214)	Office XP, Office 2004 for Mac	重要
2	MS10-004 Power Point の重要な更新	Microsoft Office PowerPoint の脆弱性により、リモートでコードが実行される (975416)	Power Point 2002,2003 Office 2004 for Mac	重要
3	MS10-005 Windows の重要な更新	Microsoft ペイントの脆弱性により、リモートでコードが実行される (978706)	Windows 2000, XP, 2003 Server	警告
4	MS10-006 Windows の重要な更新	SMB クライアントの脆弱性により、リモートでコードが実行される (978251)	Windows 2000, XP, Vista, 7, 2003 Server, 2008 Server	緊急
5	MS10-007 Windows の重要な更新	Windows Shell ハンドラーの脆弱性により、リモートでコードが実行される (975713)	Windows 2000, XP, 2003 Server	緊急
6	MS10-008 Windows の重要な更新	ActiveX の Kill Bit の累積的なセキュリティ更新プログラム (978262)	Windows 2000, XP, Vista, 7, 2003 Server, 2008 Server	緊急
7	MS10-009 Windows の重要な更新	Windows TCP/IP の脆弱性により、リモートでコードが実行される (974145)	Windows Vista, 2008 Server	緊急
8	MS10-010 Windows の重要な更新	Windows Server 2008 Hyper-V の脆弱性により、サービス拒否が起こる (977894)	2008 Server	重要
9	MS10-011 Windows の重要な更新	Windows クライアント/サーバー ランタイム サブシステムの脆弱性により、特権が昇格される (978037)	Windows 2000, XP, 2003 Server	重要
10	MS10-012 Windows の重要な更新	SMB の脆弱性により、リモートでコードが実行される (971468)	Windows 2000, XP, Vista, 7, 2003 Server, 2008 Server	重要
11	MS10-013 Windows の重要な更新	Microsoft DirectShow の脆弱性により、リモートでコードが実行される (977935)	Windows 2000, XP, Vista, 7, 2003 Server, 2008 Server	緊急
12	MS10-014 Windows の重要な更新	Kerberos の脆弱性により、サービス拒否が起こる (977290)	2000 Server, 2003 Server, 2008 Server	重要
13	MS10-015 Windows の重要な更新	Windows カーネルの脆弱性により、特権が昇格される (977165)	Windows 2000, XP, Vista, 7, 2003 Server, 2008 Server	重要

注意 警告 重要 緊急 は右側ほど深刻度が高く，緊急の対応を要します。

研修会・事業の一コマ　・・・　研修会の様子＆参加者の声など　・・・

○中学校分野別研修会　第２分野「面白・お役立ち生物実験」　（１月２８日実施）

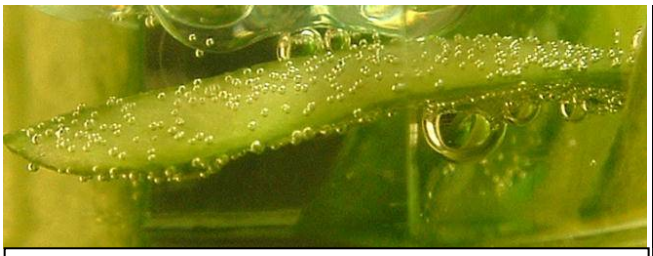
◇内　　容　衛生上の不安を解消する簡単解剖実習やユスリカのだ液腺染色体観察，確実な分裂細胞観察方法，お手軽ＤＮＡ抽出法，視覚に関する実験，だ液の実験，簡易光合成実験ほか，などの実習を時間の許す限り行いました。



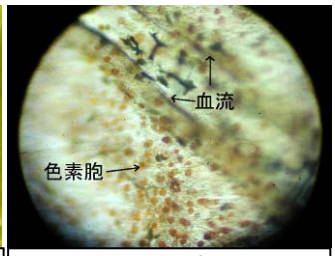
だ液腺染色体（アカムシは釣具店で入手）

オレンジジュースからＤＮＡ抽出

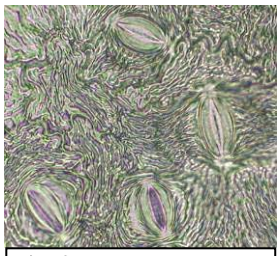
煮干しの解剖（胃の内容物を顕微鏡で観察することもできる）



キュウリの光合成の様子



グッピーの血流（尾ひれ）



気孔（接着剤で型どり）

○小学校学年別研修会　第４学年「もののあたたまりかた」　（２月２日実施）

◇内　　容　固体の熱伝導と液体や気体の熱伝導の仕組みの違いを実験を通して比較し，もののあたたまり方についての見方や考え方を養い，実感を伴った理解を促す指導についての研修でした。対流現象の提示に適した教材づくりや，必ず成功する熱気球づくりも行いました。

熱の移動が目で確認できて分かりやすかったです。子どもたちにこの驚きを味わわせたいと思います。
(参加者の声)

※　詳しい実験方法などは，教育センター科学技術教育担当までお問い合わせください。

平成２２年　２月２８日

心　の　窓（教育相談班だより）　№１２６

柏崎市立教育センター　〒945‐０８３３　柏崎市若葉町２番３１号　℡（代表）２３－４５９１
（Fax）２３－４６１０

＜教育相談＞　毎日が教育相談・・・「めざせ　あいさつ　日本一」

柏崎市立中通小学校

中通小学校は、全校６２名の小さな学校です。子どもたちは保育園のころからずっと一緒。お互いのことをよく知っています。しかし、お互いをよく知っているからといって、トラブルが起きないわけではありません。人間関係が固定化されている中で、子どもたちはさまざまな問題を抱えています。

当校では、計画的に年間２回の教育相談を行っています。教育相談の前に、児童に学校生活アンケートを実施し、その結果分析を行います。その後教員間で「子どもを語る会」を行い、どのように教育相談をするかを検討しています。教員間の連携がうまくいっているからこそ、さまざまな問題を未然に防止できたり、きめ細やかな対応ができたりできるのだと思います。毎日が子どもたちとの教育相談日という気持ちで子どもたちの指導にあたっています。元気がない、顔色がよくないなど子どもたちの小さなサインを教員全員でキャッチし、即時対応ができる。これが中通小学校のよさです。

また、今年度は「めざせ　あいさつ　日本一」を合言葉に、進んで気持ちのよいあいさつができるようさまざまな取組を行っています。朝は、地区ごとや委員会の子どもたちが玄関の前に立って「おはようございます」と気持ちのよい声であいさつしています。学校に入ると、教務室に寄って、また「おはようございます」と言ってから各教室に向かいます。昼は「こんにちはタイム」を設定し、委員会の子どもたちが教務室から各教室まで回って「こんにちは」と声をかけていきます。はじめは恥ずかしがっていた委員会の子どもたちも、今は堂々と大きな声であいさつできるようになりました。帰りは教務室によって「さようなら。今日の給食のお汁がおいしかったです」「さようなら、明日のテストがんばります」などと全校児童があいさつをしてから下校します。「さよなら」の後に付け加えられる子どもたちの一言が、私たちの楽しみになっています。この取組により、気持ちのよいあいさつが学校全体に広がりはじめています。また、あいさつすることにより、子どもたちにも笑顔が広がってきたような気がします。来年度もこの取組を進めていきます。

（文責　福永純恵）

＜ふれあいルームから＞

エールバンドコンサート

今年もふれあいルームにエールバンドの方々が演奏にいらしてくださいました。毎年来ていただいているのですが、今年はメンバーの皆さんのご都合がついたとのことで、なんと９名！！とても贅沢なコンサートになりました。

しかも、今年はふれあいルームの通級生と指導員のユニットによる前座演奏もさせていただくことができました。通級生の一人が普段からギターに親しんでおり、少し前から曲を決めて練習をしていました。カラオケにも行ったことがない子だったので、マイクを通して歌うのも、人前で演奏するのも初めてでした。前日はすごく緊張していたようですが、本番前のリハーサルでは、演奏も上手に出来て、声も良く出ていました。

そして本番！！緊張してリズムが早くなることも無く、会場の手拍子も手伝って、気持ち良く演奏が出来ました。声も今までで一番出ていたようでした。会場を盛り上げて、エールバンドの方々に引き継ぐ事が出来ました。次の日に感想を聞いたところ「ホッとした。肩の荷が下りた。」とのことで、なんとか役目を終えて、達成感もあったようでした。

エールバンドの方々の演奏には、手拍子や体でリズムをとったり、一緒に歌ったり、静かに聞き入ったり、通級生も職員も本当に楽しませていただきました。通級生の“ノリ♪”も今年はとても良くて、会場が一体になって音楽を楽しめたと思います。

音楽は好きでも、通級生にはなかなか生の演奏を聞く機会がありません。今回のコンサートで、感動する心や勇気をふれあいルームのみんなに与えてもらいました。エールバンドの方々には本当に感謝しています。　（文責　ふれあいルーム指導員　寺澤　朋法）

＜教育相談班　　３月の予定＞

＊　カウンセリングルーム

いろいろ体験グループ
（中学生②）　１日（金）１８：３０～２０：００

＊　ふれあいルーム

１９日（金）保護者会
２３日（火）通級終了日

食べることは生きること

数年前、脳性麻痺等の肢体不自由のお子さんの教育に携わっていました。その中で、最も力を入れたことの一つが摂食指導でした。その頃読んだ、摂食カウンセラーの中島知夏子さんという方の「摂食コミュニケーション」という著書を最近改めて読み返し、食の大切さを感じています。

ここ数年、「食育」という言葉を耳にすることが多くなりました。平成17年に制定された食育基本法の中で、食育は、

①生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきもの

②様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること

と位置づけられています。私たちの心も身体も、「食」の上に成り立っているということ。同じ年に当市でも、子どもたちが心身ともに健康で、長い生涯を充実して送れることを願って、「柏崎市児童生徒の食育推進プラン」が策定されました。

自閉症のお子さんについては、食に関して、「偏食」の心配をお持ちの方も多いと思います。食べられるのはふりかけごはんだけ、赤色の物だけ、沸騰した熱々の味噌汁を最初の一口だけ、等々、ご家庭はもちろん、給食という制限された中で指導をされる先生にとっても悩みどころだと思います。栄養が偏って体調を崩すのでは、このまま同じ物しか食べられないのでは、等々、心配は尽きないことでしょう。根気強く、長期的な視点に立って、とは思いつつも、ついつい指導に熱がこもってしまうことがあるかもしれません。そんな時には、基本的なことではありますが、次のようなことが頭の片隅にあると、大人も子どももゆったりと大らかな気持ちで臨めるかもしれません。

①味覚は徐々に発達していくもの。思春期の身体の成長と相まって、味覚の幅が広がり、自然に食べられるものが増えていく。

②感覚過敏や偏りはよくあること。さらに、食事の際には味覚のみならず、聴覚、視覚等、あらゆる感覚（環境）が作用する。

③様々な要因で、食べ物の好みは変化し得るもの。同じ物でも好きになったり嫌いになったりする。

④食事は生活リズムと密接に関連している。適度な運動が疲労と空腹につながり、さらには規則的な睡眠と排泄にもつながる。食事面だけに目を向けるだけではなく、トータルの生活リズムを検討することも方法の一つ。　（日本自閉症協会「自閉症ガイドブック」より）

偏食が軽減されていくことはもちろん大切ですが、食事は楽しいことであるのが第一。食べることは、人と人とのコミュニケーションのために、大きな役割を果たすものです。そして、ただ単に身体のためのものであるだけでなく、心のためのものでもあります。「食べることは生きること」、中島さんの著書の中にあったこの言葉の意味を改めて考えさせられました。

（文責　長谷川　裕美）

育成センター通信

0826

柏崎市青少年育成センター
〒945-0833 柏崎市若葉町２番31号
TEL0257-20-7601 FAX0257-23-4610
ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp

３月の予定

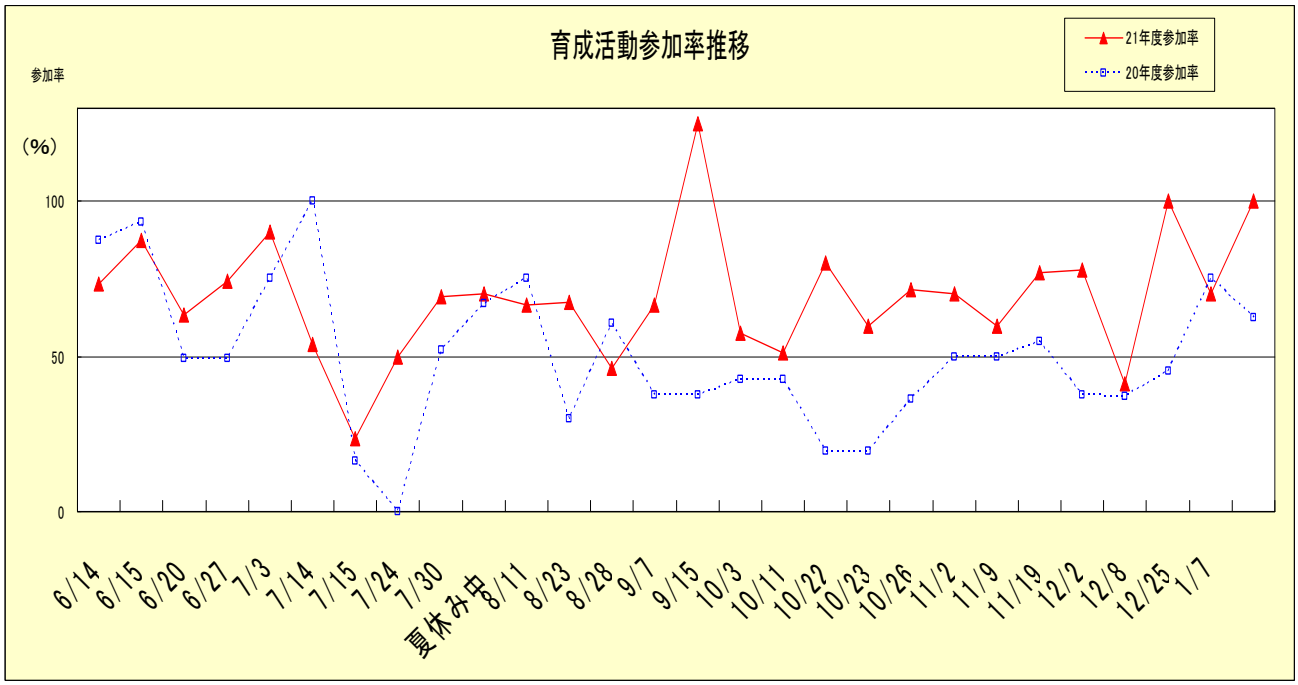
日	曜	こ と が ら	日	曜	こ と が ら
10	水	昼間育成活動（１・２班）	30	火	昼間育成活動（５・６班）
16	火	センター運営委員会			
18	木	昼間育成活動（３・４班）			

伸びる育成活動参加率！

～平成２１年度育成活動参加率の推移～

新育成委員のよる育成活動が行われてから８か月が過ぎました。下図は，青少年育成委員による育成活動の参加率の推移です。育成活動には，昼間育成活動・夜間育成活動・地区Ｐ育成活動・小中高Ｐ一日育成活動・研修活動などを含んでいます。実線は２１年度の参加率，鎖線は２０年度の参加率をそれぞれ示しています。

２１年度は，２０年度より参加率が上がり，平均すれば７０％近くの参加がありました。青少年育成委員の方々の熱心な活動ぶりがうかがえます。このような取組が青少年の健全育成につながっています。今後とも市民の皆さんのご期待に応えられるように努力します。



平成21年度 青少年健全育成大集会
～講演会参加者の感想～

去る１月２３日（土）に講演会が開催されました。下掲の通り参加者の感想の一部を紹介します。

○　中学生の子どもに携帯電話を持たせないことで安心していましたが，もっと親が勉強して子どもとともに考え，話し合ってメディアリテラシーを持ちたいと思いました。

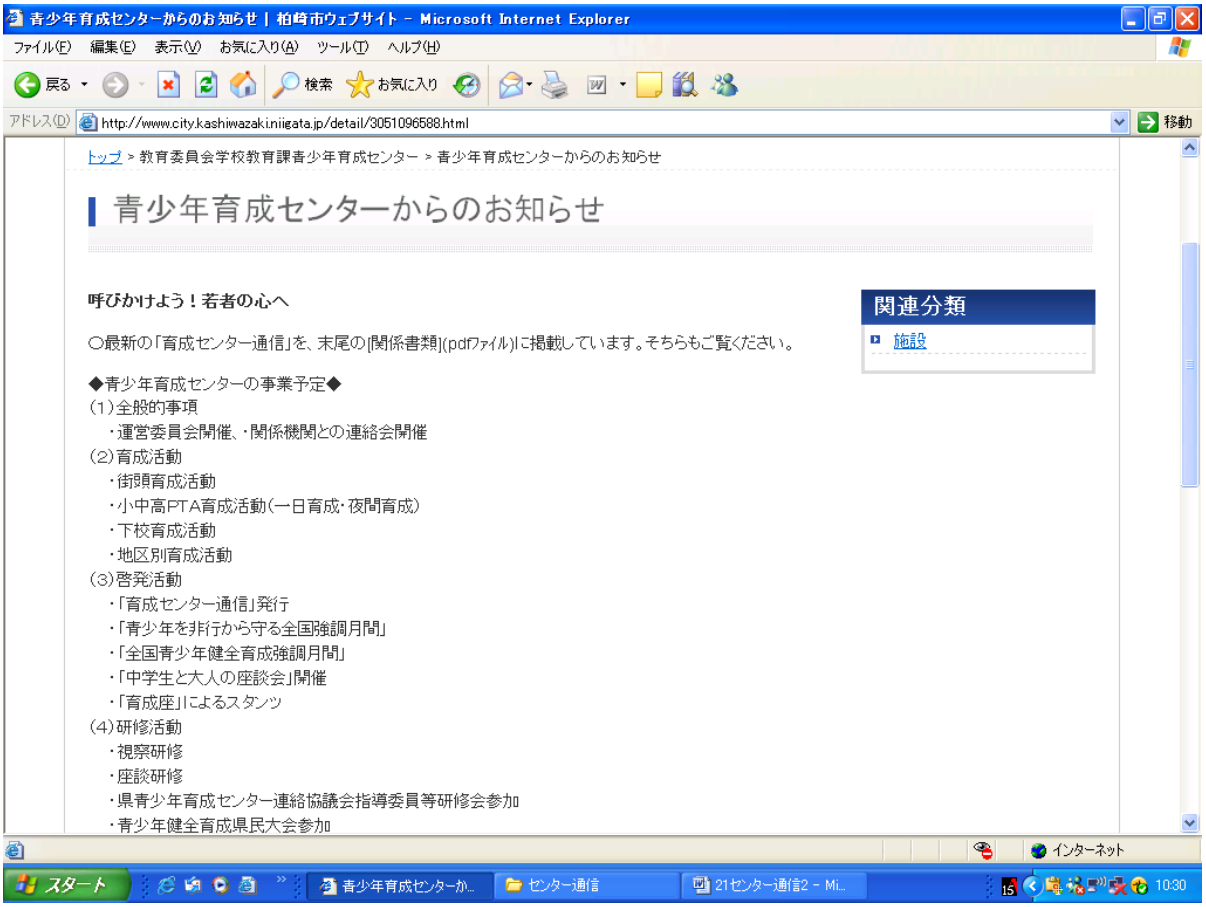
○　ケータイやパソコンなどの情報機器の便利さと怖さを感じました。有効活用のための心構えを大人がしっかりとらえておく必要があると思いました。

○　ネットいじめを軽く考えていました。子どもたちを取り巻く環境をじっくり見つめていく必要があると思いました。

○　ネットいじめの実態を知りました。我が子が加害者にも被害者にもならないように親子で話し合いを深めていこうと思います。

市青少年育成センターのホームページ！

http://www.city.kashiwazaki.niigata.jp/detail/3051096588.html



「うれしい知らせ」

ふれあいルーム指導員
寺澤　朋法

先日、ふれあいルームの卒業生がひょっこり訪ねて来ました。彼は３年前に卒業して高校へ進学した子で、この春、無事に次の進学先も決まったと報告してくれました。初めての一人暮らしを前にして、少々不安になっているようでした。初めての東京で見た道端で寝ている人、複雑な地下鉄路線図、満員電車、色々な格好をした人々、知識では知っていても実際目の当たりにして驚いていました。その気持ち、とてもよく分かりました。東京で生まれ育った人でない限り、きっと皆そうでしょう。

「卒業」を終えると、次には必ず新しい環境が待っています。「行ってしまえば平気なんですけど、行くまでが不安なんですよね。」そういう彼の言葉に成長を感じました。一度学校でうまくいかなくなって、行けなくなっても、ひとつひとつ不安を乗り越え、学校に戻っていった彼。不安ときちんと向き合って、その先に自分の新しい居場所を獲得して来た経験が、客観的に自分を見れる力や、知らない場所にひとりで飛び込んで行く勇気を養っていったのだと思いました。

進学先では自分の好きな音楽についての勉強をするそうです。就職難の時代にこういう進路でいいのだろうか？と、将来についても考えたようですが、いろいろな方の意見も聞いて、自分で決めた進路だそうです。私は「せっかく頂いた機会なんだから、好きなことを思いっきり勉強しておいで。」と声をかけました。好きなことなら少々辛くても頑張れるし、ひとつのことを徹底的にやった時にしか得られない仲間や経験もあります。私自身も美術の大学にすすんで、芸術に関する仕事をしているので、自分の進む道はこれでいいのだろうか？と思うことは度々あります。ですが、自分の選んだ道だからこそ、こうやって生き生きとしていられるのだとも思いますし、その中で素晴らしい出会いや経験もさせてもらいました。一度は企業に勤めようと思って、就職活動をした時は、なんでもっと就職に有利な学部を選ばなかったのだろう？と後悔したこともありましたが、今は本当に良かったと思っています。無駄なことなど何一つありませんでした。

音楽に関する仕事に就こうと、全く違う職種に就こうと、彼にとって、これからの経験が必ず役に立つはずです。願わくば、高校で彼が音楽を通じて素晴らしい友人たちを見つけたように、次の場所でもたくさんの良い人に巡り会わんことを。

最後に「音楽っていいですよね。ぜんぜん違う仕事に就いても、音楽はずっと続けたい。」と、彼は言ってくれました。何だかうれしくなりました。また成長した姿で、ひょっこり現れてくれるのでしょうか。うれしい知らせでした。

我が家のチェシャ猫

科学技術教育
研究助手　今井　芳和

私には弟が１人と１匹いる。彼らのうち、１匹のほうを紹介したい。
１匹というのだから無論彼は人間ではない。彼は猫である。彼は私が９歳か 10 歳のころにやってきた。今年で 15 歳になる老猫である。彼の白い毛並みは手触りもよく滑らかであり、粉雪を着込んでいるように感じられる。彼が若い時分はずいぶんと手を焼かされた。ここ最近は落ち着いたと言うべきか老いたと言うべきか、言葉に迷ってしまうが彼はおとなしい。愛用の座布団の上で眠りこけているか、誰かのことをジッと観察するように見ている。

彼は私がコタツで休んでいる時などソファの背もたれの上、はるか頭上から私のことを見下ろしてくる。彼らの世界では序列の高い順番に高い位置を好むのだということを最近知った。思うに彼は私よりも自分の位が高いことを示しているのだろう。そんな時、私は彼を優しく抱き上げ床に降ろしてやる。私は立ったまま、彼はその場に座ったり立ったまましばし見つめ合う。余談であるが私の身長は 180cm ほどある。彼は私を見上げることに飽きると自分の指定席へともどる。またあるときは私がソファに寝そべっていると他に居場所が空いているにも関わらず、わざわざ私の胸の上に箱座りをして目をつむる。彼の身体測定をしたわけではないので正確な数値はわからないが、彼は頭から尻尾の先まで 80cm は越えているし体重も３～４kg ほどはある。重くてどうしたものかと考えているとパチリと目を開け、胸の上からジャンプしてソファの背もたれへと移動する。不意打ちの衝撃たるや堪ったものではない。彼は私の苦しむ姿を横目に「どうしたの？」というような顔をする。その顔は猫本来の口元のせいかにやにやと笑っているように見える。

私は漫画やテレビゲームなどを趣味としている。彼は私が漫画を読んでいるときに限って私と漫画の間にその身を滑らせ、「最初からここにいましたけどなにか？」というくらいの顔で私の顔を見てくる。テレビゲームをしている時など酷いもので、ゲーム機本体の電源ボタンを踏んで電源を切る。彼の凶行はとても恐ろしい。
そんな彼の凶行に対し私も報復を行っている。30cm ほどの細い棒の先に毛の塊のついたものを使う。それを彼の目の前で振って本能を刺激し、彼が疲れ果てるまでそれを追わせるのだ。彼は本能のままにそれを追い、大いに疲れると指定席へともどっていく。

彼と私の歴史はこのような静かな戦いを繰り返してきたと言っても過言ではないだろう。私は彼で遊び、また彼も私で遊んでいるのだ。

平成21年度　月間予定表　　3月　　柏崎市立教育センター

####

日	曜	研修・行事・会議	内部事務・日程等	出張・関係事業等
1	月	相・いろいろ体験グループ（中②）18:30	所内会議　13:00	＊事務研第5回グループ連絡会（一研）15:00
2	火			
3	水			
4	木			
5	金			出・県地区セン研修総会②（新潟：植木）
6	土			北条南・北小学校閉校式・惜別の会（所長）10:00-14:30
7	日			
8	月	相・相談班会議　13:00	嘱託員採用申込締切	中学校卒業式
9	火			
10	水	昼間育成（育）		＊スクールオフィス研修会（学校教育課：多目的研ほか）13:00　　＊退職校長会　13:00
11	木		嘱託員採用面接	
12	金			「教育の情報化」推進フォーラム（東京国際交流館）～13日（所長）　人事異動内示
13	土			
14	日			
15	月			＊事務研第3回推進協議会（多目的研）10:00
16	火	研・情報セキュリティ委員会（多目的）15:00		育成センター運営委員会（相談室）15：00 翔洋中等教育学校卒業式（所長）9:00
17	水			いなほの会学習会（相談室：小林）19:00
18	木	昼間育成（育）		心のケアセンター運営委員会（小林）10:00
19	金	ふ・保護者会		文教経済常任委員会（22年度予算）10:00
20	土			
21	日			
22	月			
23	火	ふ・通級終了日		
24	水			小学校卒業式
25	木			２月定例議会最終日
26	金		資源物回収 15:00	
27	土			
28	日			
29	月			
30	火	昼間育成（育）		定例教育委員会　13：30
31	水			

研・教育研究班　　科・科学技術教育班　　相・教育相談班　　ふ・ふれあいルーム　　情・情報教育研修
育・育成センター　　出・出張　　＊・施設貸出　　【　】は未確定の行事・時間

H21年度　教育センター事業の参加・利用状況

	研修講座・事業名		9月の利用数	10月の利用数	11月の利用数	12月の利用数	1月の利用数	H21年度利用合計数
教育研究班	専門研修講座　＊		8回	4回	9回	5回	0回	56回
			223人	56人	388人	289人	0人	1,753人
	共催研修、研修講座		0回	0回	0回	0回	0回	2回
			0人	0人	0人	0人	0人	94人
	学校の要請研修会		0回	0回	0回	0回	0回	0回
			0人	0人	0人	0人	0人	0人
	調査研究員会,教科研修員会		1回	2回	6回	3回	0回	16回
			1人	2人	6人	3人	0人	40人
	教育情報化研修講座　＊		4回	2回	3回	3回	5回	43回
			40人	4人	8人	25人	132人	465人
	情報教育主事の要請支援等		10回	13回	10回	10回	7回	138回
			393人	95人	162人	50人	161人	1,521人
	その他の相談・利用・参加数		0回	1回	1回	1回	0回	5回
			0人	15人	20人	16人	0人	54人
	教科書センター利用閲覧数		6人	6人	4人	2人	0人	235人
教育研究班・科学技術教育	理科研修講座　＊		4回	3回	2回	1回	2回	33回
			45人	16人	26人	7人	8人	379人
	学校等の要請研修		1回	3回	1回	0回	0回	14回
			102人	137人	42人	0人	0人	936人
	地域の自然研修・観察会		0回	0回	1回	0回	0回	9回
			0人	0人	45人	0人	0人	381人
	科学教育振興事業(科学の祭典・科学教室等)		2,499人	113人	900人	102人	81人	9,647人
	理科教育の相談・支援		60件	37件	47件	51件	35件	508件
	理科教材・物品の貸出		80件	151件	3件	235件	1件	1,062件
	(教職員研修の合計)		122人	54人	82人	109人	89人	1,082人
教育相談班	カウンセリングルーム来室相談	新規相談件数	17件	17件	16件	25件	11件	228件
		のべ相談件数	73件	73件	54件	68件	58件	618件
	学校訪問相談		12回	10回	10回	10回	8回	108回
	家庭訪問相談	訪問対象者数	1人	1人	1人	1人	1人	14人
		訪問のべ回数	4回	5回	3回	4回	4回	50回
	電話相談		1件	2件	1件	1件	0件	16件
	ソーシャルスキルトレーニング		1回	5回	4回	6回	4回	39回
			6人	26人	23人	29人	22人	211人
	ふれあいルーム在籍人数	小学生	6人	7人	7人	7人	8人	59人
		中学生	10人	11人	11人	11人	11人	94人
	ふれあいルーム通級日数		19日	16日	14日	17日	15日	156日
	ふれあいルーム通級のべ人数	小学生	28人	31人	34人	42人	30人	265人
		中学生	105人	95人	74人	100人	94人	758人
	ふれあいルーム学校復帰人数(部分復帰を含む)		0人	2人	0人	3人	2人	14人
教育団体，ＰＴＡ，市民等の利用			243人	261人	257人	152人	263人	2,646人
教育センター事業の参加・利用総数			**3,938**	**1,152**	**2,123**	**1,211**	**908**	**21, 975**

ガリレオ・ガリレイはイタリアの天文学者で近代科学の父と言われ、経験的・実証的方法を用いる近代科学の端緒を開いた人です。

新しい教育の創造を志向する私たちにもガリレオ・ガリレイのごときたゆまざる創造と検証の精神が必要であるという趣旨から情報紙の名称を「GALILEI」としています。

教育センターと青少年育成センターの情報とともに、柏崎の教育を広く発信していきます。

所報「GALILEI」　平成２２年２月末日発行
表紙写真撮影　中山　博迪

柏崎市立教育センター
ＴＥＬ　0257-23-4591
ＦＡＸ　0257-23-4610
E-mail　k-center@city.kashiwazaki.niigata.jp

柏崎市青少年育成センター
ＴＥＬ　0257-20-7601
ＦＡＸ　0257-23-4610
E-mail　ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp

〒945-0833　新潟県柏崎市若葉町２―31